



よ ば てんびょう
四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年11月6日

第16号

いっぽちか じそう がっこう
また一歩近づいた自走する学校



感動の中、フィナーレを迎えた文化祭。どの発表も力を尽くした素晴らしいものでした。当日までの努力や工夫、込められた思いがピンピンと伝わる発表でした。合唱コンクールでは、どのクラスも「優勝は、自分たちのクラスだ！」と信じて疑わないくらい、最高の出来栄えであったようです。みんな、よくがんばったんだよね。中部中学校は、また「自律」「協生」「創発」な学校に近づきました。ありがとう！



こううん ひ よ ほうほう
幸運を引き寄せる方法

今年の文化祭では、新しい試みも行われました。縦割りによる群合唱、職員合唱は、その中の一つです。文化祭の終盤に、これらの取組が全校合唱につながりました。決して予定されていたわけではなく、誰かの指示だったわけでもなく、全校生徒と職員が自然に一体となることができた大合唱団。あの瞬間、「中部中学校って、なんて素敵な学校なんだろう」と、誰もが実感したはず。あの場に立ち合えたことを幸運に思っています。そう、偶然が重なった上での全校合唱だったからです。

また、同時にこんなことも考えました。全校合唱は、群合唱、職員合唱を企画しなければ生まれなかったことです。生徒も教職員も一生懸命に練習をしていたからこそ、「みんなで歌おう！」という雰囲気になったのです。



運がいいとか悪いとかいいですが、「手を抜かず、何事にも真剣に取り組んだ先に幸運はやってくるんだなあ」と、あの瞬間を振り返って感じました。幸運の神様は、ちゃんと見ているんです。

キャストとして参画する

文化祭の取組を振り返ってみて、あなたはゲストでしたか？ キャストでしたか？

文化部の人、舞台発表の人、生徒会役員、そして、合唱リーダー（指揮者・伴奏者）は、それぞれの場面でキャストとしての役割を十分に果たしてくれました。それだけではなく・・・。

- 最優秀賞となった、あるクラスの合唱練習では、歌い終わった後に誰に言われるでもなく、小さな対話の輪ができ、リーダー以外の多くの人が歌の振り返りを行っていた。
- 3年生の最優秀賞の発表があった時、同じ群の1年生も2年生も一緒になって喜んでいました。
- ダサイン（凧あげ）に刺激を受け、今度は中国チームが自発的に発表を行った。
- 教科の展示物を含め、真剣に見て回る人が多かった。感想の中にも、「自分が作品等を創る時の参考になった」とか、「来年、私も頑張っ取り組みたい」のように、展示物を良いお手本として鑑賞している様子が見て取れた。

このように、自分の意思で行動している場面が多く見られたことをうれしく思っています。積極的に物事に係ろうとする3年生の姿や同級生の姿に刺激を受けた人も多かったのではないのでしょうか。

今年度も、あと4か月。ますます自走する中部中学校であるためにも、キャストとしての行動に期待しています。

お詫びと訂正 & 連絡

(1) 吹奏楽部の港地区演奏会(なやプラザ)の日時が間違っていました。

誤) 11月17日(日) → 正) 11月10日(日)

(2) 11月9日(土)は、土曜授業です。給食はありませんので、弁当の準備をお願いします。

なお、11日(月)は、振替休日となります。